

報道機関各社 様

ファイザー製ワクチン供給量不足等に伴う対応について

このたび、ファイザー製の新型コロナウイルスワクチンの供給について、次の国からの供給が7月24日になったほか、8月および9月の供給量が当初の想定よりも減少する見込みであることから、これらの状況を踏まえた札幌市の当面の対応と今後の接種計画についてお知らせいたします。

1 ファイザー製ワクチンの供給の見通しと札幌市の対応について

(1) 国からのファイザー製ワクチン供給の見通し

- ① 第10クール（7月19日の週および7月26日の週の配送分）
7月24日納入予定：113箱（133,210回分）
※配送希望数 352箱（411,840回分）
- ② 第11クール～第14クール（8月2日～9月30日の配送分）
1クール（2週間）当たり：103箱（120,510回分）程度の供給を想定

(2) 今後の対応

- ① 7月16日（金）から7月25日（日）までの対応
第10クール（7月19日の週および7月26日の週の配送分）の納入日が配送期間内の中盤の7月24日となったことにより、7月16日から7月25日までの間、配送センターの在庫分を考慮しても、医療機関におけるワクチン需要に対して公平に配分するワクチン量の確保が困難な状況であることから、7月16日から7月25日までの間、各医療機関へのファイザー製ワクチンの配送を見合わせる。
また、同期間において医療機関では在庫量以上の接種が困難となることから、在庫量以上の予約を受け付けている各医療機関には、必要に応じて、予約の変更やキャンセルといった対応を依頼する。
- ② 7月26日（月）から9月30日（木）までの対応
第11クール以降の供給量は、100箱程度の状況が継続する見通しであることから、各医療機関への供給量は、これまでの接種実績を踏まえ、ワクチンの発注数に上限を設けて配送。
また、7月16日から7月25日までと同様に、在庫量以上の予約を受け付けている各医療機関には、必要に応じて、予約の変更やキャンセルといった対応を依頼する。

(3) 各医療機関における予約変更・キャンセルの対応方法

① 1回目の接種日を変更する場合

原則、7月26日以降に予約を変更。ただし、当該医療機関における予約変更が難しく、かつ本人が希望した場合には、医療機関における予約をキャンセルし、モデルナ製ワクチンを使用する集団接種会場を案内する。

② 2回目の接種日を変更する場合

厚生労働省は1回目の接種から6週間後までに2回目を接種することを目安としていることから、可能な範囲で7月26日以降に予約を変更。ただし、当該医療機関における予約の変更が難しく、かつ本人が希望した場合には、医療機関における予約をキャンセルのうえ、ファイザー製ワクチンを使用する集団接種会場（札幌エルプラザ会場・パークホテル会場）を案内する（7月16日から予約受付開始）。

2 10月以降の供給量の見通しについて

ファイザー製ワクチンについて、9月までの供給量の見通しについては示されたものの、10月以降については示されていないことから、引き続き国及び北海道への要望を継続し、接種計画に影響が出ないよう必要量の確保に努める。

【問い合わせ先】

札幌市新型コロナウイルスワクチン接種
お問い合わせセンター（電話 011-351-8646）